MDHCだより

NO．３１

H１８．５．２２

三河歯科衛生専門学校

臨床実習開始に際して

校　長　　竹　内　幹　彦

常日頃は、三河歯科衛生専門学校に対しご協力大変ありがとうございます。

今年も早いもので９回生の臨床実習が始まりました。実は今年、私も臨床実習施設として学生を受け入れることにしました。どんな学生が来るのか？そして開校以来、校長として云っているきちっと「あいさつ」が出来るか？興味津々でしたが、学力はさておき「あいさつ」はきちっと出来、ひと安心しました。これも私の考え方を理解して、大変な努力をして学生達を指導していている先生方のお陰だと感謝しています。

私の臨床実習施設としての教育方針は、私が普通にやっている診療をありのままにみせて、出来る限りの多くのことを経験させることです。もちろん朝の掃除から後片付けまでの全てです。学生を受け入れることに関して、それぞれの臨床実習施設によって考え方が違うことは当然ですし、全く構わないと思います。ただ「教育をしている」という信念だけは持っていただきたいと思います。今年からそのような意味で、正式な委嘱状を発行いたしました。是非待合室に掲示して下さい。

お願いする側といたしましては大変都合良い言葉かもしれません。学生の受け入れは、その診療所にとっては精神的にも多大な負担があると思いますが、観点を変えれば「若い仲間」を育てるプライドとよろこびを感じる場でもあるのではないでしょうか。楽しんで学生達を教育していただけることをお願い申し上げます。

臨床実習概要

＜４期に分けて実施＞　平成１８年度の実習生は５７名、実習期間は５月１２日から１２月８日までです。３０の歯科医院・病院と１０の諸施設のご協力のもと、４期に分けて実施します。

なお、各期の区分は次の通りです。

１期　　５月１２日～　６月１３日
２期　　６月１６日～　７月１９日
３期　　９月　６日～１０月１８日
４期　１０月３０日～１２月　８日

＜事前指導＞　臨床実習に向けて、以下のような事前指導を実施しました。

【臨床補助実習】は、１年生の学年末に器具・器材の名称・用途・取扱いの確認実習、業者によるセメント練和、ＰＭＴＣの研修などを行いました。

【実習直前指導】は、５月８日から５月１１日まで行い、歯科診療補助（連合印象、バキュームテクニック等）の実技復習をしました。また新聞から医療・保健・福祉に関連する記事を取り上げ、グループディスカッションをするなど、臨床（社会）に出る前の最終準備を行いました。この他、マナー・接遇についての指導を４回実施しました。

学校行事から

１　入学式（１０回生）

平成１８年度入学式は、４月６日（木）１０時から本校講堂で挙行されました。西三河地区歯科医師会会長、愛知県歯科衛生士会会長、学園本部からは後藤局長にご出席いただき、竹内校長が１０回生５６名の入学を許可しました。

歯科医師会を代表して、豊田加茂歯科医師会会長の近藤先生から、「歯科衛生士としてさまざまな分野で活躍できるように、２年間しっかり勉強して欲しい」と励ましのお言葉を頂きました。

２　戴帽式（９回生）

臨床実習を前にして、２年生の戴帽式は４月２７日（木）１４時から入学式同様、西三河地区歯科医師会会長、愛知県歯科衛生士会会長をはじめ多くの保護者のご出席のもと、厳粛で温かい雰囲気の中で行われました。

来賓を代表して、刈谷市歯科医師会会長の石川先生から「臨床実習では笑顔、あいさつ、返事を意識し、仕事に対する姿勢を学んで欲しい。」と社会人・医療人としての大切さを、愛知県歯科衛生士会会長の池山先生から「キャップにはいろいろな人の愛がこもっている。」「灯のように、分けても減らない愛情を育てる。」など歯科衛生士の仕事の素晴らしさをお話していただきました。

＜『戴帽式を終えて』学生感想文＞

～『校長先生よりキャップを受け取り、“頑張れ”と言われた時、嬉しさと同時に責任感が強く湧いてきました。』

～『たくさんの人たちに支えられてここまで来られたということを実感した。これからは感謝の気持ちを常に持ち、精一杯やっていきたい。』

第１５回　歯科衛生士国家試験結果

(H１８．3月実施・8回生受験)

全国では７，３１２名が受験し、合格率は９５．９％でした。本校の卒業生５８名は全員合格し、昨年に引き続いて１００％合格となりました。臨床実習でのご指導が大きな力となっています。ありがとうございました。

３　１８年度の主な行事予定（２年生）

・臨床実習	５/１２～１２/　８
・夏休み	７/２２～　８/３１
・研修旅行	１０/２５～１０/２７
・国試集中授業	１２/１１～　３/　２
・国家試験	３月上旬
・卒業式	３/１５